



ほけんだより



かんの保育園 2024. 2月号

寒い日がまだまだ続きますが、2月4日は立春で暦の上では春を迎えようとしています。厳しい寒さの中でも元気いっぱい子どもたちですがまだまだインフルエンザや胃腸炎などの感染症が流行する時期でもありますので体調に気を付けて過ごして行けたらと思います！



～豆などの食品による 窒息事故について～

かんだよりにて皆さまに「食品による子どもの窒息・誤嚥事故に注意！」を送らせて頂きました。2月3日（金）の節分に豆まきなどをお考えのご家庭もありがとうございます。個包装された豆を使用したりするなどしてお子さんが豆を口にしないよう留意して頂くようお願いいたします。また「5歳以下のお子さんには食べさせないでください」と記載がありますが小学生でも窒息・誤嚥の危険性がありますのでご兄弟も含め気を付けながら日本の行事を楽しんでもらえたらと思います。横浜市の通達によりかんの保育園でも豆まきは実施しませんがそれに代わる楽しいイベントを企画していますので楽しみにして下さい！！

こどもの窒息事故予防について

子供の口の大きさは

約4cm



〇口に入る大きさのものを周りに置かない

子供の口の大きさは3歳児で直径約4cm。これより小さいものは子供の口にすっぽり入り、窒息の原因になる危険があります。直径4cm未満のものは子供の周りに置かないようにしましょう。

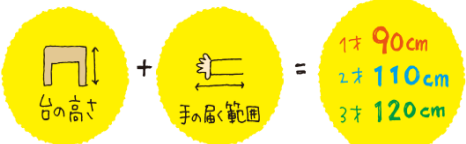
〇こどもの手が届かない場所に置く

おもちゃや小さな部品など、子供が口に入れて危険なものは、床に置いたままにせず、子供の手が届かない場所に片付けましょう。子供の手が届く範囲は、手の届く範囲と台の高さを足した長さで、1歳児では約90cm、2歳児では約110cm、3歳児では約120cmです。これを目安にして、より遠い（より高い）場所に置いて、子供が触れないようにしましょう。



子どものやけども予防しよう!

手の届く範囲を確認し、やけどの危険のある物は子どもの手の届かない場所に置きましょう。



ほかにもこんな危険があります!

テーブルクロス の裏

テーブルクロス裏に挟んで暖めることがあります。

コードの裏

引っこ抜いたりこぼしたりおそく抜けてくたびれることがあります。

取っ手の裏

熱いお湯や熱いお湯が出てお湯がこぼれやすくなります。

死亡に至る事故のランキング

- 1位 交通事故 26%
- 2位 溺死 20%
- 3位 火傷 10%

やけどの原因で多いもの

- 1位 食べ物の熱いもの
- 2位 コンロやお湯をグイグイ
- 3位 お湯コンロやホットプレート
- 4位 炊飯器



やけどに注意!!

冬になり寒くなると、ファンヒーターや熱湯、熱いスープなどによる火傷の件数が多くなります。左のイラストを参考にご家庭の中の危険な場所をチェックしてみてください! またカイロや電気毛布などで起こる低温火傷にも注意が必要になってきます。長時間の使用は避け、直接肌に触れないように使用しましょう。

